

1 個人経営体（1経営体当たり）

主として漁船漁業を営む個人経営体の漁労収入は796万円、漁労支出は595万円、漁労所得は201万円となった。

漁労支出の構成割合をみると、油費が20.8%と最も高く、次いで雇用労賃が18.1%、減価償却費が12.0%となっている。

また、主として海面養殖業を営む個人経営体の漁労所得は、ぶり類養殖業が100万円、まだい養殖業が851万円、ほたてがい養殖業が532万円、かき類養殖業が1,073万円、わかめ類養殖業が126万円、のり類養殖業が397万円、真珠養殖業が638万円となっており、まだい養殖業及びのり類養殖業を除いて前年を上回る結果となった。

表1 個人経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区 分	平成25年	構成割合
	千円	%
漁労収入	7,960	-
漁労支出	5,953	100.0
うち 油費	1,237	20.8
雇用労賃	1,079	18.1
減価償却費	712	12.0
販売手数料	484	8.1
修繕費	443	7.4
漁労所得	2,007	-
漁獲量(kg)	18,167	-
補助・補償金（漁業）	410	-

注：1 平成25年の集計経営体数は、302経営体である。

2 東日本大震災の影響により、漁業が行えなかったこと等から福島県を含まない。

図1 個人経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合

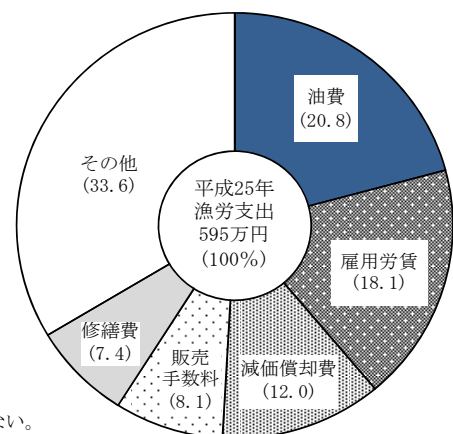


表2 個人経営体（海面養殖業：1経営体当たり）の経営収支

区 分	単位	ぶり類 養殖業	まだい 養殖業	ほたてが い養殖業	かき類 養殖業	わかめ類 養殖業	のり類 養殖業	真 珠 養殖業
漁労収入	千円	97,367	51,613	20,050	37,585	5,656	18,181	14,522
漁労支出	〃	96,371	43,105	14,726	26,852	4,400	14,207	8,140
漁労所得	〃	996	8,508	5,324	10,733	1,256	3,974	6,382
養殖施設面積	m ²	1,012	1,323	14,555	4,188	4,056	12,522	6,761
収獲量	kg	117,812	60,367	93,630	51,155	23,591	1,920,092	23,885
補助・補償金（漁業）	千円	2,729	196	742	1,083	402	652	305

注：1 養殖施設面積及び収獲量は、主とする養殖業のみの値である。

2 収獲量は、のり類養殖業の単位は「枚」、真珠養殖業の単位は「g」である。

2 会社経営体（漁船漁業：1経営体当たり）

主として漁船漁業を営む会社経営体の漁労売上高は2億8,145万円、漁労支出は3億5万円となった。

漁労売上高から漁労支出を差し引いた漁労利益はマイナス1,860万円で、これに漁労外利益を加えた営業利益はマイナス918万円となった。

また、営業利益に営業外収益を加え、営業外費用を差し引いた経常利益は170万円となっている。

図2 会社経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合

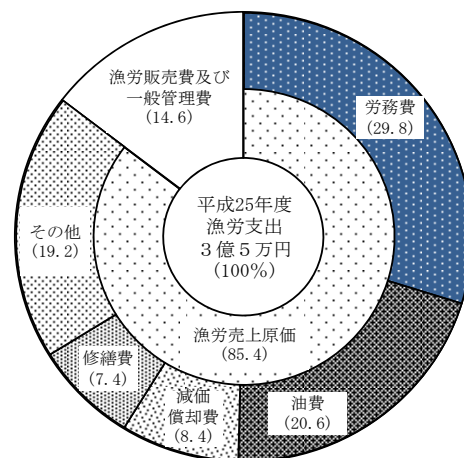


表3 会社経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区 分	平成25年度	構成割合
	千円	%
漁労売上高	281,446	-
漁労支出	300,050	100.0
漁労売上原価	256,370	-
うち 労務費	89,355	29.8
油費	61,745	20.6
減価償却費	25,347	8.4
修繕費	22,307	7.4
漁労販売費及び一般管理費	43,680	14.6
漁労利益	△ 18,604	-
漁労外利益	9,427	-
営業利益	△ 9,177	-
営業外収益	19,081	-
営業外費用	8,206	-
経常利益	1,698	-
漁獲量(t)	1,523	-

注：1 平成25年度の集計経営体数は、129経営体である。

2 漁労支出とは、「漁労売上原価」と「漁労販売費及び一般管理費」の合計値である。